

造林事業標準単価

令和5年7月1日適用

兵庫県農林水産部林務課

＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ 目

次 ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝

- 1 地 拵 え
- 2 植 栽
- 3 下 刈
- 4 除 伐
- 5 保 育 間 伐
- 6 間 伐
- 7 更 新 伐
- 8 改 良
- 9 雪 起 し
- 10 枝 打 ち
- 11 獣 害 防 止 施 設 等 整 備
- 12 花 粉 発 生 源 植 替 え

(注) 1 単価は、円/ha、円/100m、円/本

2 単価表のうち2段書きとなっているものは、上段は消費税抜き単価、下段は資材費のみ消費税等(10%)を加算した単価。(資材費とは、苗木等の経費)
消費税等の取扱いについては、次のとおり取り扱うものとし、上段単価を適用した場合においては、別途消費税を加算できるものとする。
ただし、補助金の最終受益者(森林所有者等)が原則課税業者等である場合は、消費税抜き単価(上段)を適用とする。

- ①県、市町、公社が事業主体となり、請負により実施するもの 上段単価
※上段単価に消費税を加算できる。
- ②森林組合等の経理区分が、総額損益経理であるもの 上段単価
※上段単価に消費税を加算できる。
- ③森林組合等の経理区分が、受託経理であるもの 下段単価
- ④森林所有者が自力 下段単価
※森林組合等以外に請け負わせて実施したもので、消費税の支払いが明らかでないものを含む。

3 間接費の算出については、次のとおり取り扱うものとする。
平成23年3月31日付け、22林整整第857号林野庁整備課長通知。「森林環境保全整備事業における標準単価の設定等について」に基づき算出する。

4 間伐及び更新伐にかかる搬出材積のうち、チップ用材として取り扱われたものの換算値は1.26m³/tとする。

1 地拵え

(1)地拵え(刈り払い機)

区分	草丈	
草地	-	353,000円/ha
灌木地	-	353,000円/ha
ササ地	1m以下	327,000円/ha
	1m超	460,000円/ha

- 1 本単価は、草地及びササ地において刈り払い機で地拵えをする作業に適用する。なお、片付けを含む。
- 2 片付けのみを行う場合は、(3)地拵え(片付けのみ)単価を適用する。
- 3 疎: 植生被覆率70%未満、密: 植生被覆率70%以上とする。
- 4 本単価は、農山漁村地域整備交付金の花粉発生源対策促進事業には適用できない。

(2)地拵え(一貫作業システムの機械地拵え: グラップル)

202,000円/ha

- 1 本単価は、車両系林業機械による全木集材(皆伐)の直後に作業道周辺の地拵えを行う場合に適用する。
- 2 本単価は、農山漁村地域整備交付金の花粉発生源対策促進事業には適用できない。

(3)地拵え(片付けのみ)

1人工/ha	2人工/ha	3人工/ha	4人工/ha	5人工/ha
22,000円/ha	45,000円/ha	68,000円/ha	91,000円/ha	114,000円/ha

- 1 本単価は、片付けのみを行う場合に適用する。
- 2 本単価は、農山漁村地域整備交付金の花粉発生源対策促進事業には適用できない。

2 植栽

(1)人工造林、樹下植栽

(1,500本～1,999本)

スギ・ヒノキ (普通苗)	マツ (普通苗)	広葉樹 (普通苗)	スギ・ヒノキ (コンテナ苗)	マツ (コンテナ苗)	広葉樹 (コンテナ苗)
369,000円/ha	340,000円/ha	504,000円/ha	511,000円/ha	442,000円/ha	1,110,000円/ha
390,000円/ha	358,000円/ha	539,000円/ha	548,000円/ha	471,000円/ha	1,206,000円/ha

(2,000本～2,499本)

スギ・ヒノキ (普通苗)	マツ (普通苗)	広葉樹 (普通苗)	スギ・ヒノキ (コンテナ苗)	マツ (コンテナ苗)	広葉樹 (コンテナ苗)
493,000円/ha	454,000円/ha	673,000円/ha	682,000円/ha	589,000円/ha	1,480,000円/ha
521,000円/ha	478,000円/ha	718,000円/ha	731,000円/ha	629,000円/ha	1,609,000円/ha

(2,500本～2,999本)

スギ・ヒノキ (普通苗)	マツ (普通苗)	広葉樹 (普通苗)	スギ・ヒノキ (コンテナ苗)	マツ (コンテナ苗)	広葉樹 (コンテナ苗)
616,000円/ha	567,000円/ha	841,000円/ha	853,000円/ha	736,000円/ha	1,850,000円/ha
651,000円/ha	597,000円/ha	898,000円/ha	914,000円/ha	786,000円/ha	2,011,000円/ha

(3,000本～)

スギ・ヒノキ (普通苗)	マツ (普通苗)	広葉樹 (普通苗)	スギ・ヒノキ (コンテナ苗)	マツ (コンテナ苗)	広葉樹 (コンテナ苗)
739,000円/ha	681,000円/ha	1,009,000円/ha	1,023,000円/ha	884,000円/ha	2,220,000円/ha
781,000円/ha	717,000円/ha	1,078,000円/ha	1,097,000円/ha	943,000円/ha	2,413,000円/ha

※ 植栽本数は、地域森林計画や他法令等に基づく植栽本数以上とする。

(2)補植

(450本～749本)

スギ・ヒノキ (普通苗)	マツ (普通苗)	広葉樹 (普通苗)	スギ・ヒノキ (コンテナ苗)	マツ (コンテナ苗)	広葉樹 (コンテナ苗)
110,000円/ha	102,000円/ha	151,000円/ha	153,000円/ha	132,000円/ha	333,000円/ha
117,000円/ha	107,000円/ha	161,000円/ha	164,000円/ha	141,000円/ha	362,000円/ha

(750本～999本)

スギ・ヒノキ (普通苗)	マツ (普通苗)	広葉樹 (普通苗)	スギ・ヒノキ (コンテナ苗)	マツ (コンテナ苗)	広葉樹 (コンテナ苗)
184,000円/ha	170,000円/ha	252,000円/ha	255,000円/ha	221,000円/ha	555,000円/ha
195,000円/ha	179,000円/ha	269,000円/ha	274,000円/ha	235,000円/ha	603,000円/ha

(1000本～1249本)

スギ・ヒノキ (普通苗)	マツ (普通苗)	広葉樹 (普通苗)	スギ・ヒノキ (コンテナ苗)	マツ (コンテナ苗)	広葉樹 (コンテナ苗)
246,000円/ha	227,000円/ha	336,000円/ha	341,000円/ha	294,000円/ha	740,000円/ha
260,000円/ha	239,000円/ha	359,000円/ha	365,000円/ha	314,000円/ha	804,000円/ha

(1,250本～1,500本)

スギ・ヒノキ (普通苗)	マツ (普通苗)	広葉樹 (普通苗)	スギ・ヒノキ (コンテナ苗)	マツ (コンテナ苗)	広葉樹 (コンテナ苗)
308,000円/ha	283,000円/ha	420,000円/ha	426,000円/ha	368,000円/ha	925,000円/ha
325,000円/ha	298,000円/ha	449,000円/ha	457,000円/ha	393,000円/ha	1,005,000円/ha

※ 補植は、人工造林により1,500本/ha以下の植栽を行った森林において、気象害等(鳥獣害は除く)による枯損率(枯損苗木数/植栽本数)がおおむね30%以上発生した場合に、植栽の実施の翌年度から起算して5年以内に当初植栽した本数までの追加的な植栽として1回に限り行えるものとする。

3 下刈り

全刈り	筋刈り
164,000円/ha	53,000円/ha

- 1 1回刈りとし、2回刈りは補助対象としない。
- 2 筋刈りは植栽列に沿って幅80cm程度の幅で刈り払う場合に適用する。

4 除伐

除伐A	除伐B (選木あり)	除伐B (選木なし)
169,000円/ha	59,000円/ha	39,000円/ha

- 1 除伐Aは下刈りが終了した5齢級以下の林分で行う不用木の除去等に適用する。
- 2 除伐Bは不用木が主林木の成長を阻害することが明らかに予想される場合で、12齢級以下の林分又は伐採しようとする不良木の胸高直径の平均が⁶18cm未満の林分において適用する。
- 3 除伐B(選木あり)は伐倒前に伐採する立木が判別できるようマーキングする作業を実施した場合に適用する。

5 保育間伐

選木あり

7齢級以下

8齢級以上

保育間伐	保育間伐(枝玉)	保育間伐(枝玉片)	保育間伐	保育間伐(枝玉)	保育間伐(枝玉片)
168,000円/ha	326,000円/ha	390,000円/ha	126,000円/ha	235,000円/ha	289,000円/ha

選木なし

7齢級以下

8齢級以上

保育間伐	保育間伐(枝玉)	保育間伐(枝玉片)	保育間伐	保育間伐(枝玉)	保育間伐(枝玉片)
112,000円/ha	271,000円/ha	335,000円/ha	97,000円/ha	206,000円/ha	260,000円/ha

- 1 伐倒前に伐採する立木が判別できるようマーキングする作業を実施した場合は選木あり単価を適用する。
- 2 適正な密度管理を目的とした12齢級以下の林分、又は伐採する不良木の胸高直径が平均18cm未満の不良木の除去等に適用する。
- 3 保育間伐(枝玉)は、「選木、伐倒」に加え「枝払、玉切」を含む。
- 4 保育間伐(枝玉片)は、「選木、伐倒」に加え「枝払、玉切、片付」を含む。
- 5 枝払、玉切、片付を含む単価は、①30度以上の急傾斜地、②人家、道路の上部、③保安林、のいずれかの条件において実施する場合に適用する。

6 間伐

(1)通常機械(0.45m)

定性(スギ・ヒノキ)選木あり

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)										
	0-10	0-10(枝玉)	0-10(枝玉片)	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輛系	126,000	235,000	289,000	185,000	244,000	303,000	362,000	421,000	480,000	539,000	598,000
架線系	126,000	235,000	289,000	197,000	269,000	340,000	412,000	483,000	555,000	626,000	698,000

定性(スギ・ヒノキ)選木なし

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)										
	0-10	0-10(枝玉)	0-10(枝玉片)	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輛系	97,000	206,000	260,000	156,000	215,000	274,000	333,000	392,000	451,000	510,000	569,000
架線系	97,000	206,000	260,000	168,000	240,000	311,000	383,000	454,000	525,000	597,000	668,000

列状(スギ・ヒノキ)

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)										
	0-10	0-10(枝玉)	0-10(枝玉片)	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輛系	97,000	206,000	260,000	147,000	198,000	248,000	299,000	349,000	400,000	450,000	501,000
架線系	97,000	206,000	260,000	157,000	217,000	277,000	338,000	398,000	458,000	518,000	578,000

(2)小型機械(0.28m)

定性(スギ・ヒノキ)選木あり

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)										
	0-10	0-10(枝玉)	0-10(枝玉片)	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輛系	126,000	235,000	289,000	188,000	249,000	311,000	372,000	434,000	496,000	557,000	619,000
架線系	126,000	235,000	289,000	200,000	274,000	348,000	422,000	496,000	570,000	644,000	719,000

定性(スギ・ヒノキ)選木なし

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)										
	0-10	0-10(枝玉)	0-10(枝玉片)	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輛系	97,000	206,000	260,000	158,000	220,000	282,000	343,000	405,000	467,000	528,000	590,000
架線系	97,000	206,000	260,000	171,000	245,000	319,000	393,000	467,000	541,000	615,000	689,000

列状(スギ・ヒノキ)

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)										
	0-10	0-10(枝玉)	0-10(枝玉片)	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輛系	97,000	206,000	260,000	150,000	203,000	256,000	309,000	362,000	415,000	469,000	522,000
架線系	97,000	206,000	260,000	160,000	222,000	285,000	348,000	411,000	474,000	537,000	600,000

(3)チェーンソー造材

定性(スギ・ヒノキ)選木あり

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)										
	0-10	0-10(枝玉)	0-10(枝玉片)	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輛系	126,000	235,000	289,000	196,000	265,000	335,000	405,000	474,000	544,000	613,000	683,000
架線系	126,000	235,000	289,000	208,000	290,000	372,000	454,000	536,000	618,000	701,000	783,000

定性(スギ・ヒノキ)選木なし

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)										
	0-10	0-10(枝玉)	0-10(枝玉片)	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輛系	97,000	206,000	260,000	166,000	236,000	306,000	375,000	445,000	515,000	584,000	654,000
架線系	97,000	206,000	260,000	179,000	261,000	343,000	425,000	507,000	589,000	671,000	753,000

列状(スギ・ヒノキ)

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)										
	0-10	0-10(枝玉)	0-10(枝玉片)	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輛系	97,000	206,000	260,000	158,000	219,000	280,000	341,000	402,000	464,000	525,000	586,000
架線系	97,000	206,000	260,000	168,000	238,000	309,000	380,000	451,000	522,000	593,000	664,000

1 森林作業道の幅員が狭い場合など、現地条件により造材機械(プロセスサ等)のベースマシン0.45mが適用しがたい場合に、(2)小型機械(0.28m)を適用する。

2 伐倒前に伐採する立木が判別できるようマーキングする作業を実施した場合は、選木あり単価を適用する。

3 搬出材積の区分の判断 例)「10-20」は10m³以上20m³未満。4 「0-10」は搬出材積10m³/ha未満の間伐に適用する。

5 間伐(枝玉)は、「(選木)、伐倒」に加え「枝払、玉切」含む。

6 間伐(枝玉片)は、「(選木)、伐倒」に加え「枝払、玉切、片付」含む。

7 枝払、玉切、片付を含む単価は、①30度以上の急傾斜地、②人家、道路の上部、③保安林、のいずれかの条件において実施する場合に適用する。

8 定性・列状を組み合わせて実施している場合は列状の単価を適用する。

9 7齢級以下の森林のみからなる施行地について集材(車輛系)の作業工程が適用される作業方法により初回の間伐を行なう場合は、間伐の実施の方法にかかわらず、列状間伐の単価を適用する。

7 更新伐

(1)通常機械(0.45m³)

定性(スギ・ヒノキ)選木あり

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)								
	0-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輻系	104,000	163,000	222,000	281,000	340,000	399,000	458,000	517,000	576,000
架線系	104,000	176,000	247,000	319,000	390,000	461,000	533,000	604,000	676,000

定性(スギ・ヒノキ)選木なし

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)								
	0-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輻系	80,000	139,000	198,000	257,000	316,000	375,000	434,000	493,000	552,000
架線系	80,000	151,000	223,000	294,000	366,000	437,000	509,000	580,000	651,000

列状(スギ・ヒノキ)

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)								
	0-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輻系	80,000	130,000	181,000	231,000	282,000	332,000	383,000	433,000	484,000
架線系	80,000	140,000	200,000	261,000	321,000	381,000	441,000	501,000	562,000

(2)小型機械(0.28m³)

定性(スギ・ヒノキ)選木あり

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)								
	0-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輻系	104,000	166,000	228,000	289,000	351,000	412,000	474,000	536,000	597,000
架線系	104,000	178,000	252,000	326,000	401,000	475,000	549,000	623,000	697,000

定性(スギ・ヒノキ)選木なし

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)								
	0-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輻系	80,000	142,000	203,000	265,000	326,000	388,000	450,000	511,000	573,000
架線系	80,000	154,000	228,000	302,000	376,000	450,000	524,000	598,000	672,000

列状(スギ・ヒノキ)

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)								
	0-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輻系	80,000	133,000	186,000	239,000	292,000	345,000	399,000	452,000	505,000
架線系	80,000	143,000	206,000	268,000	331,000	394,000	457,000	520,000	583,000

(3)チェーンソー造材

定性(スギ・ヒノキ)選木あり

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)								
	0-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輻系	104,000	174,000	244,000	313,000	383,000	452,000	522,000	592,000	661,000
架線系	104,000	186,000	268,000	350,000	433,000	515,000	597,000	679,000	761,000

定性(スギ・ヒノキ)選木なし

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)								
	0-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輻系	80,000	150,000	219,000	289,000	358,000	428,000	498,000	567,000	637,000
架線系	80,000	133,000	244,000	326,000	408,000	490,000	572,000	654,000	737,000

列状(スギ・ヒノキ)

(単位:円/ha)

区分	搬出材積(m ³ /ha)								
	0-10	10-20	20-30	30-40	40-50	50-60	60-70	70-80	80-
車輻系	80,000	141,000	202,000	263,000	324,000	386,000	447,000	508,000	569,000
架線系	80,000	133,000	222,000	292,000	363,000	434,000	505,000	576,000	647,000

1 森林作業道の幅員が狭い場合など、現地条件により造材機械(プロセッサ等)のベースマシン0.45m³が適用しがたい場合に、(2)小型機械(0.28m³)を適用する。

2 伐倒前に伐採する立木が判別できるようマーキングする作業を実施した場合は選木あり単価を適用する。

3 搬出材積の区分の判断 例)「10-20」は10m以上20m未満。

4 「0-10」は搬出材積10m³/ha未満の更新伐に適用する。

5 定性・列状を組み合わせて実施している場合は列状の単価を適用する。

8 改良

(単位:円/ha)

改良A			改良B		
3齢級	4齢級	5齢級以上	3齢級	4齢級	5齢級以上
399,000	592,000	615,000	1,263,000	1,325,000	1,420,000

改良C	改良D
719,000	344,000

- 改良A は、優良な松林の育成のため、不用木、不良木の除去を行うものに適用する。
- 改良B は、優良な松林の育成のため、不用木、不良木の除去とともに、松の天然下種更新促進のための地表かき起こしを行うものに適用する。
- 改良C は、不用木、不良木を除去し、シイタケ原木林の造成を行うものに適用する。
- 改良D は、シイタケ原木林において、不用木、不良萌芽の除去を行うものに適用する。

9 雪起し

1 齢級	スギ・ヒノキ	1,000～1,499本	94,000円/ha
			95,000円/ha
		1,500～1,999本	142,000円/ha
			143,000円/ha
		2,000～2,499本	188,000円/ha
190,000円/ha			
2,500本～	236,000円/ha		
	239,000円/ha		
2 齢級 以上	スギ・ヒノキ	1,000～1,499本	144,000円/ha
			146,000円/ha
		1,500～1,999本	215,000円/ha
			217,000円/ha
		2,000～2,499本	287,000円/ha
290,000円/ha			
2,500本～	360,000円/ha		
	364,000円/ha		

10 枝打ち

枝打A (枝打高2.0mまで)	197,000円/ha
枝打B (枝打高3.0mまで)	234,000円/ha
枝打C (枝打高4.0mまで)	262,000円/ha

※枝打は、各作業種につき1回の採択を限度とする。

11 獣害防止施設等整備

(1) 獣害防護柵

100mあたり

区分	スカートネットなし		外付けスカートネットあり		L型防護ネット(スカート一体型)	
	通常支柱	耐雪支柱	通常支柱	耐雪支柱	通常支柱	耐雪支柱
支柱間隔5m	141,000円	150,000円	170,000円	179,000円	207,000円	210,000円
	150,000円	160,000円	181,000円	191,000円	220,000円	223,000円
支柱間隔4m以下	149,000円	158,000円	178,000円	187,000円	220,000円	229,000円
	158,000円	168,000円	189,000円	199,000円	233,000円	243,000円

1 別添標準設計と同等以上の機能があれば、本単価を適用する。

2 シカの生息密度、積雪状況等、現地の状況に応じて柵のタイプを選択すること。

(2) 立木利用柵

100mあたり

スカートネットなし	外付けスカートネットあり	L型防護ネット(スカート一体型)
89,000円	139,000円	177,000円
95,000円	147,000円	187,000円

1 別添標準設計と同等以上の機能があれば、本単価を適用する。

2 シカの生息密度、積雪状況等、現地の状況に応じて柵のタイプを選択すること。

3 利用する立木の間隔が5mを超える場合で、柵のたるみを防ぐ等の目的で支柱を設置する場合は、この支柱設置について(3)支柱設置(立木利用/補修)単価を適用する。

(3) 支柱設置(立木利用/補修)

通常支柱	耐雪支柱
2,590円/本	3,046円/本
2,734円/本	3,235円/本

1 立木利用柵の設置について、利用する立木の間隔が5mを超える場合で、柵のたるみを防ぐ等の目的で支柱を設置する場合は、この支柱設置については本単価を適用する。

2 鳥獣害防止森林区域内の既設の獣害防護柵が異常な天然現象により被害を受け、支柱が再利用不可能となった場合に、破損支柱の傍に新たに支柱を設置する場合は本単価を適用する。ただし、新たに設置する支柱は破損支柱と同じタイプ(通常/耐雪)とする。

(4) 単木防除

(1,500本～1,999本)

硬質筒状 (チューブ)		軟質網状 (ネット)
本体地上高170cm		L = 170cm
支柱1本	支柱2本	
2,045,000円/ha	2,013,000円/ha	1,525,000円/ha
2,209,000円/ha	2,174,000円/ha	1,637,000円/ha

(2,000本～2,499本)

硬質筒状 (チューブ)		軟質網状 (ネット)
本体地上高170cm		L = 170cm
支柱1本	支柱2本	
2,727,000円/ha	2,684,000円/ha	2,033,000円/ha
2,946,000円/ha	2,898,000円/ha	2,183,000円/ha

(2,500本～2,999本)

硬質筒状 (チューブ)		軟質網状 (ネット)
本体地上高170cm		L = 170cm
支柱1本	支柱2本	
3,409,000円/ha	3,355,000円/ha	2,542,000円/ha
3,682,000円/ha	3,623,000円/ha	2,729,000円/ha

(3,000本～)

硬質筒状 (チューブ)		軟質網状 (ネット)
本体地上高170cm		L = 170cm
支柱1本	支柱2本	
4,091,000円/ha	4,026,000円/ha	3,050,000円/ha
4,419,000円/ha	4,348,000円/ha	3,274,000円/ha

12 花粉発生源植替え

・皆伐のみ(花粉発生源植替えに伴う、支障木等伐倒費(主林木の全数を伐倒)、造材費、搬出集積費及び共通仮設費を含む。)

(1)通常

搬出材積(m ³ /ha)										
100-110	110-120	120-130	130-140	140-150	150-160	160-170	170-180	180-190	190-200	200-210
691,000	741,000	791,000	842,000	892,000	943,000	993,000	1,044,000	1,094,000	1,145,000	1,195,000

搬出材積(m ³ /ha)									
210-220	220-230	230-240	240-250	250-260	260-270	270-280	280-290	290-300	300-
1,246,000	1,296,000	1,347,000	1,397,000	1,448,000	1,498,000	1,549,000	1,599,000	1,650,000	1,700,000

(2)小型機械(0.28m³)

搬出材積(m ³ /ha)										
100-110	110-120	120-130	130-140	140-150	150-160	160-170	170-180	180-190	190-200	200-210
717,000	770,000	823,000	876,000	929,000	982,000	1,035,000	1,089,000	1,142,000	1,195,000	1,248,000

搬出材積(m ³ /ha)									
210-220	220-230	230-240	240-250	250-260	260-270	270-280	280-290	290-300	300-
1,301,000	1,354,000	1,407,000	1,460,000	1,514,000	1,567,000	1,620,000	1,673,000	1,726,000	1,779,000

・【再掲】植栽(苗木代、苗木運搬費、植付費及び共通仮設費を含む)

(1,500本～1,999本)

スギ・ヒノキ (コンテナ苗)	広葉樹 (コンテナ苗)
511,000円/ha	1,110,000円/ha
548,000円/ha	1,206,000円/ha

(2,000本～2,499本)

スギ・ヒノキ (コンテナ苗)	広葉樹 (コンテナ苗)
682,000円/ha	1,480,000円/ha
731,000円/ha	1,609,000円/ha

(2,500本～2,999本)

スギ・ヒノキ (コンテナ苗)	広葉樹 (コンテナ苗)
853,000円/ha	1,850,000円/ha
914,000円/ha	2,011,000円/ha

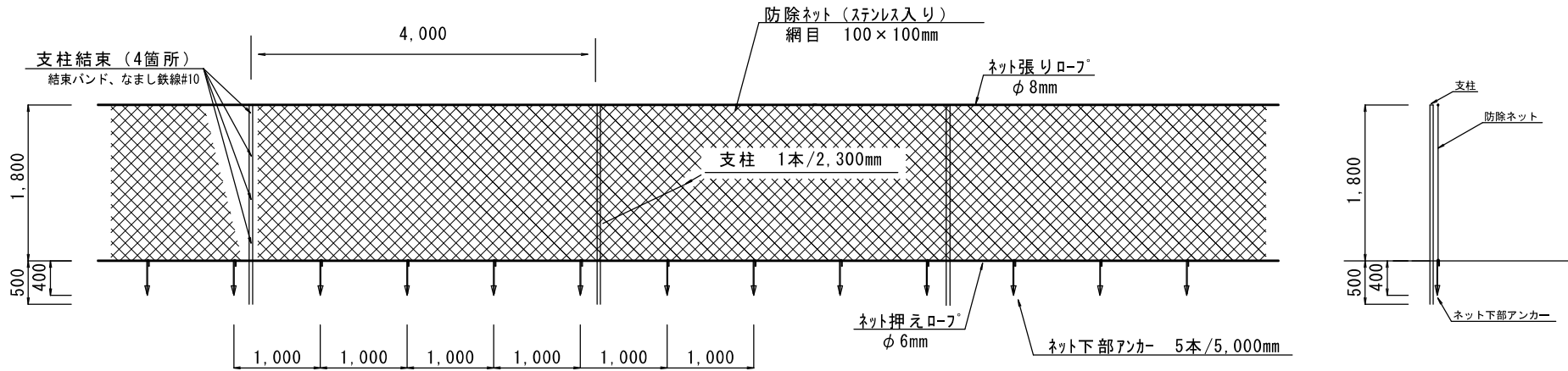
(3,000本～)

スギ・ヒノキ (コンテナ苗)	広葉樹 (コンテナ苗)
1,023,000円/ha	2,220,000円/ha
1,097,000円/ha	2,413,000円/ha

(注)

- 1 花粉発生源植替え単価は、農山漁村地域整備交付金の花粉発生源対策促進事業にのみ適用する。
- 2 本単価には、花粉発生源植替えに伴う、支障木等伐倒費(主林木の全数を伐倒)、造材費、搬出集積費、共通仮設費を含む。
- 3 森林作業道の幅員が狭い場合など、現地条件により造材機械(プロセッサ等)のベースマシン0.45m³が適用しがたい場合に、(2)小型機械(0.28m³)を適用する。
- 4 植替えの対象となる森林は、花粉発生源となっているスギ・ヒノキ人工林に限る。
- 5 植替えに使用する苗木は、スギ・ヒノキのコンテナ苗で、かつ花粉症対策苗木、または、郷土広葉樹のコンテナ苗に限る。
- 6 搬出材積のうち、チップ用材として取り扱われたものの換算値は1.26m³/tとする。

獣害防護柵標準設計

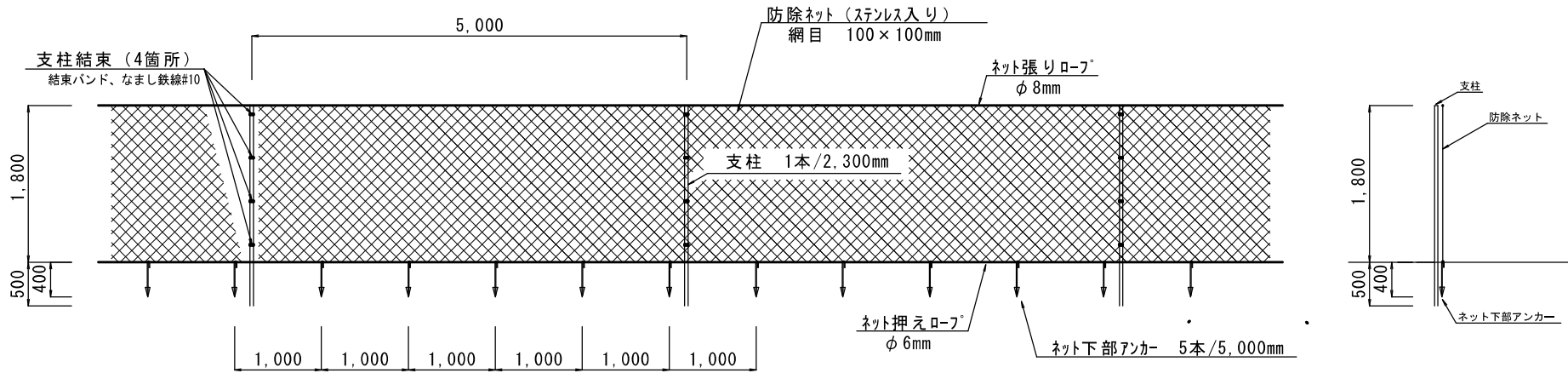


標準設計 (※1)	
防除ネット	H=1.8m ステンレス入り
	網目 10cm×10cm
支柱	鋼製、被覆鋼管製、FRP製
	地上部H=1.8m 結束4箇所 設置間隔 4.0m (※2) 打込深 0.5m
ネット下部アンカー	ABS樹脂製
	設置間隔 1.0m (※2,3) 打込深 0.4m
ネット張りロープ	ポリエチレン製 φ8mm
ネット押えロープ	ポリエチレン製 φ6mm

- ※1 補助対象として標準設計と同等以上の性能を有すること。
- ※2 岩が露出している等の理由により、局部的に支柱・ネット下部アンカーの設置間隔が広がる場合は、機能に支障が無い事を確認すること。
- ※3 防除ネット下部を支柱地際、灌木等重量物に結束する場合は、当該箇所のネット下部アンカーを省略可とする。

年度		
工事名	造林事業	
施工地	兵庫県	
図面名	獣害防護柵(支柱間隔4m)標準設計	
事務所名		
図面番号	縮尺	1:50
設計者 (変更設計者)	照査者	
作成年月日	変更作成年月日	
その他		

獣害防護柵標準設計

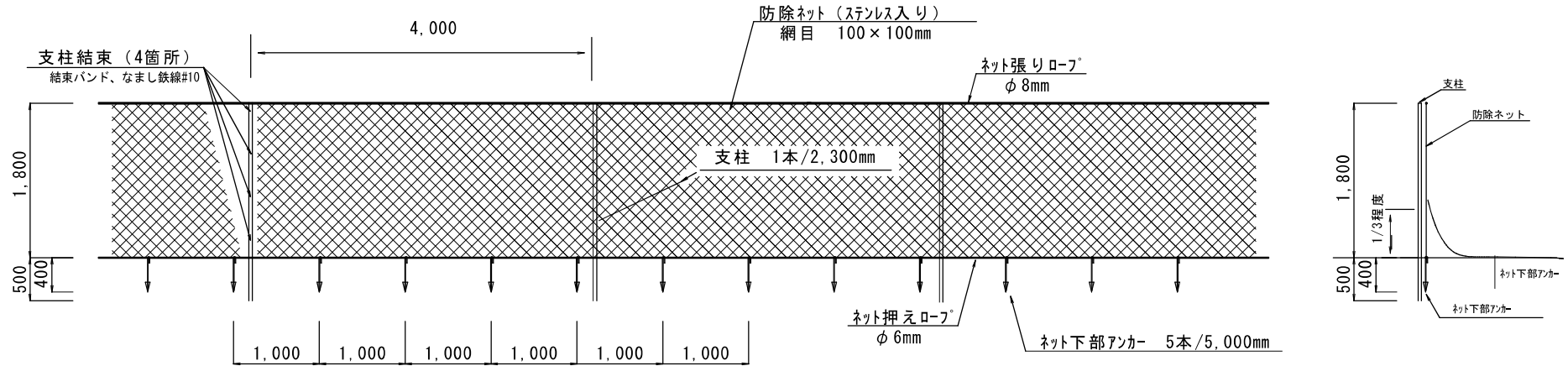


標準設計 (※1)	
防除ネット	H=1.8m ステンレス入り
	網目 10cm×10cm
支柱	鋼製、被覆鋼管製、FRP製
	地上部H=1.8m 結束4箇所 設置間隔 5.0m (※2) 打込深 0.5m
ネット下部アンカー	ABS樹脂製
	設置間隔 1.0m (※2,3) 打込深 0.4m
ネット張りロープ	ポリエチレン製 φ8mm
ネット押えロープ	ポリエチレン製 φ6mm

- ※1 補助対象として標準設計と同等以上の性能を有すること。
- ※2 岩が露出している等の理由により、局部的に支柱・ネット下部アンカーの設置間隔が広がる場合は、機能に支障が無い事を確認すること。
- ※3 防除ネット下部を支柱地際、灌木等重量物に結束する場合は、当該箇所のネット下部アンカーを省略可とする。

年度		
工事名	造林事業	
施工地	兵庫県	
図面名	獣害防護柵標準設計	
事務所名		
図面番号	縮尺	1:50
設計者 (変更設計者)	照査者	
作成年月日	変更作成年月日	
その他		

獣害防護柵標準設計



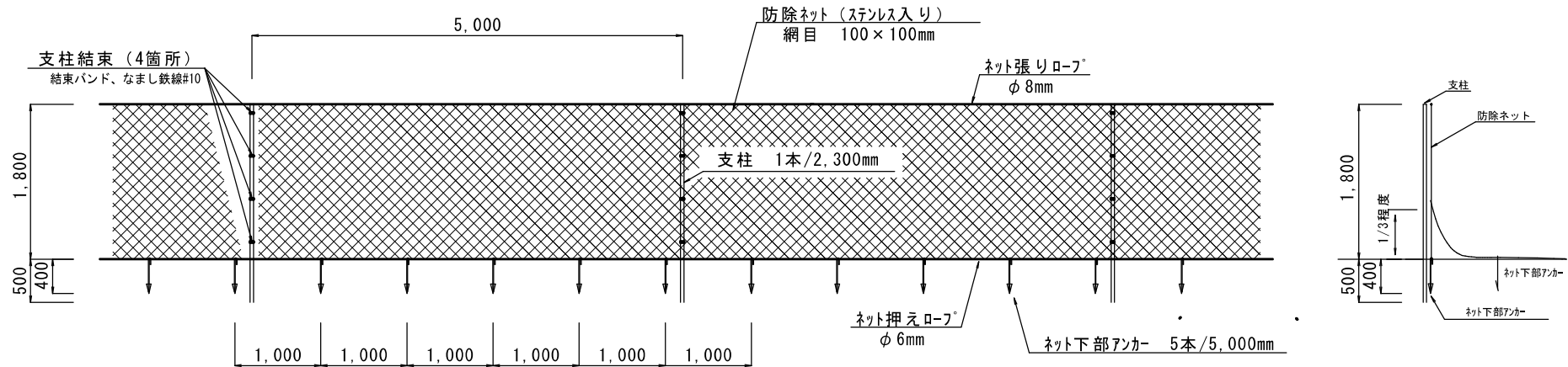
標準設計 (※1)	
防除ネット	H=1.8m ステンレス入り
	網目 10cm×10cm
支柱	鋼製、被覆鋼管製、FRP製
	地上部H=1.8m 結束4箇所 設置間隔 4.0m (※2) 打込深 0.5m
ネット下部アンカー	ABS樹脂製
	設置間隔 1.0m (※2,3) 打込深 0.4m
ネット張りロープ	ホリエチレン製 φ8mm
ネット押えロープ	ホリエチレン製 φ6mm

スカートネット標準設計	
スカートネット	ホリエチレン製 W=135cm 編目15×15cm (ホリエチレン製 W=90cm 編目10×10cm)
ネット下部アンカー	ABS樹脂製 設置間隔1.0m (※2,3)
張りロープ	ホリエチレン製 φ4mm
押えロープ	ホリエチレン製 φ4mm

- ※1 補助対象として標準設計と同等以上の性能を有すること。
- ※2 岩が露出している等の理由により、局部的に支柱・ネット下部アンカーの設置間隔が広がる場合は、機能に支障が無い事を確認すること。
- ※3 防除ネット下部を支柱地際、灌木等重量物に結束する場合は、当該箇所のネット下部アンカーを省略可とする。

年度		
工事名	造林事業	
施工地	兵庫県	
図面名	獣害防護柵(支柱4m・スカートネット)標準設計	
事務所名		
図面番号	縮尺	1:50
設計者 (変更設計者)	照査者	
作成年月日	変更作成年月日	
その他		

獣害防護柵標準設計



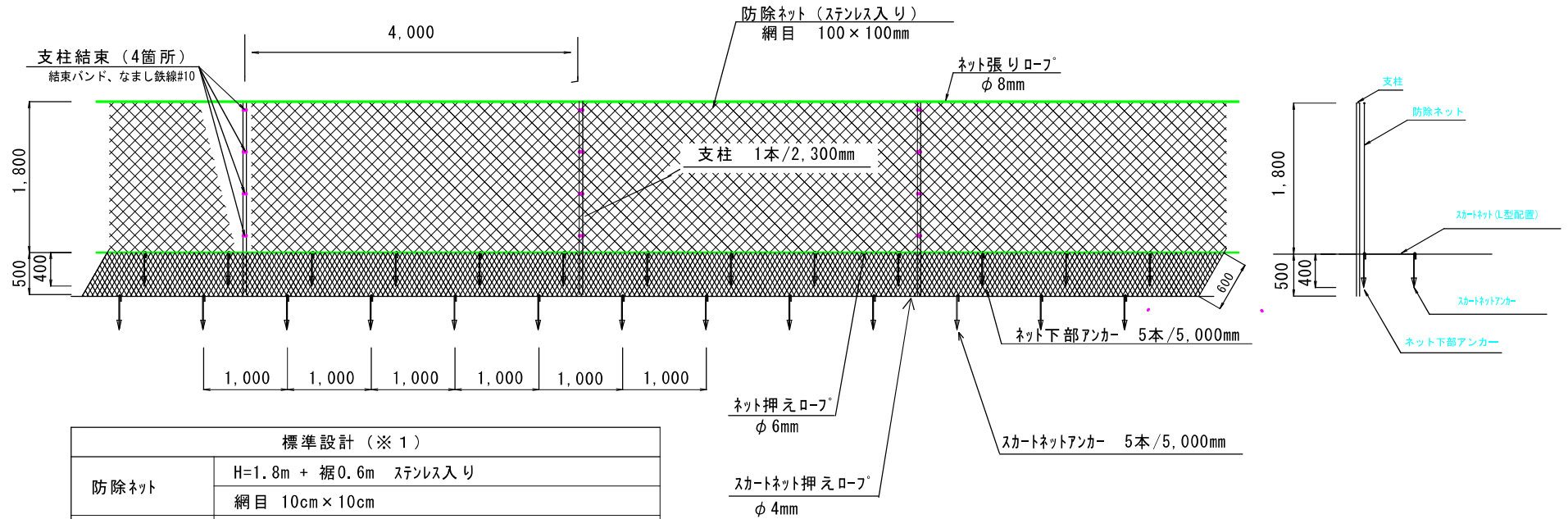
標準設計 (※1)	
防除ネット	H=1.8m ステンレス入り 網目 10cm×10cm
支柱	鋼製、被覆鋼管製、FRP製 地上部H=1.8m 結束4箇所
	設置間隔 5.0m (※2) 打込深 0.5m
ネット下部アンカー	ABS樹脂製
	設置間隔 1.0m (※2,3) 打込深 0.4m
ネット張りロープ	ホ [°] ポリエチレン製 φ8mm
ネット押えロープ	ホ [°] ポリエチレン製 φ6mm

スカートネット標準設計	
スカートネット	ホ [°] ポリエチレン製 W=135cm 編目15×15cm (ホ [°] ポリエチレン製 W=90cm 編目10×10cm)
ネット下部アンカー	ABS樹脂製 設置間隔1.0m (※2,3)
張りロープ	ホ [°] ポリエチレン製 φ4mm
押えロープ	ホ [°] ポリエチレン製 φ4mm

- ※1 補助対象として標準設計と同等以上の性能を有すること。
- ※2 岩が露出している等の理由により、局部的に支柱・ネット下部アンカーの設置間隔が広がる場合は、機能に支障が無い事を確認すること。
- ※3 防除ネット下部を支柱地際、灌木等重量物に結束する場合は、当該箇所のネット下部アンカーを省略可とする。

年度		
工事名	造林事業	
施工地	兵庫県	
図面名	獣害防護柵(スカートネット)標準設計	
事務所名		
図面番号	縮尺	1:50
設計者 (変更設計者)	照査者	
作成年月日	変更作成年月日	
その他		

獣害防護柵標準設計



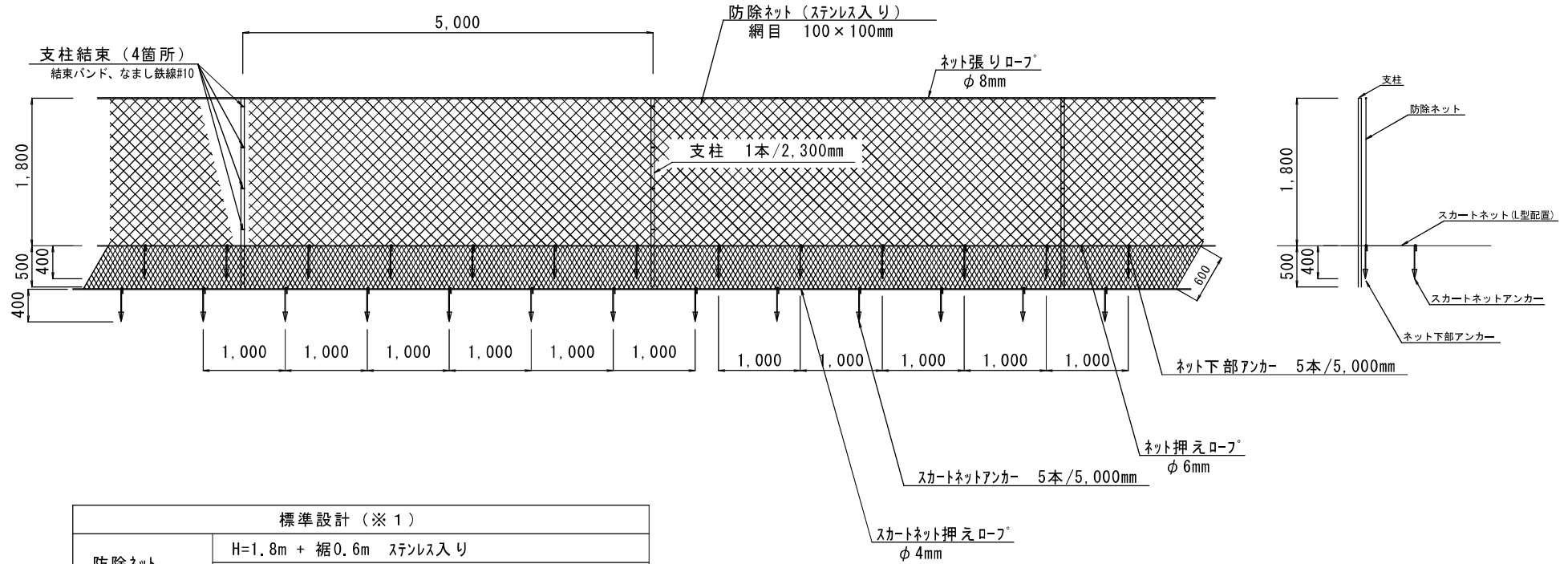
標準設計 (※ 1)	
防除ネット	H=1.8m + 裾0.6m ステンレス入り
	網目 10cm×10cm
支柱	鋼製、被覆鋼管製、FRP製
	地上部H=1.8m 結束4箇所 設置間隔 4.0m (※ 2) 打込深 0.5m
ネット下部アンカー	ABS樹脂製
	設置間隔 1.0m (※ 2, 3) 打込深 0.4m
ネット張りロープ	ホ [®] ポリエチレン製 φ 8mm
ネット押えロープ	ホ [®] ポリエチレン製 φ 6mm

スカートネット(L型配置)標準設計	
スカートネットアンカー	ABS樹脂製 設置間隔1.0m
スカートネット押えロープ	ホ [®] ポリエチレン製 φ 4mm

- ※ 1 補助対象として標準設計と同等以上の性能を有すること。
- ※ 2 岩が露出している等の理由により、局所的に支柱・ネット下部アンカーの設置間隔が広がる場合は、機能に支障が無い事を確認すること。
- ※ 3 防除ネット下部を支柱地際、灌木等重量物に結束する場合は、当該箇所のネット下部アンカーを省略可とする。

年度		
工事名	造林事業	
施工地	兵庫県	
図面名	獣害防護柵(支柱間隔4m)標準設計	
事務所名		
図面番号	縮尺	1:50
設計者 (変更設計者)	照査者	
作成年月日	変更作成年月日	
その他		

獣害防護柵標準設計



標準設計 (※1)	
防除ネット	H=1.8m + 裾0.6m ステンレス入り
	網目 10cm×10cm
支柱	鋼製、被覆鋼管製、FRP製
	地上部H=1.8m 結束4箇所
	設置間隔 5.0m (※2) 打込深 0.5m
ネット下部アンカー	ABS樹脂製
	設置間隔 1.0m (※2, 3) 打込深 0.4m
ネット張りロープ	ポリエチレン製 φ8mm
ネット押えロープ	ポリエチレン製 φ6mm

スカートネット (L型配置) 標準設計	
スカートネットアンカー	ABS樹脂製 設置間隔1.0m
スカートネット押えロープ	ポリエチレン製 φ4mm

- ※1 補助対象として標準設計と同等以上の性能を有すること。
- ※2 岩が露出している等の理由により、局所的に支柱・ネット下部アンカーの設置間隔が広がる場合は、機能に支障が無い事を確認すること。
- ※3 防除ネット下部を支柱地際、灌木等重量物に結束する場合は、当該箇所のネット下部アンカーを省略可とする。

年度		
工事名	造林事業	
施工地	兵庫県	
図面名	獣害防護柵標準設計	
事務所名		
図面番号	縮尺	1:50
設計者 (変更設計者)	照査者	
作成年月日	変更作成年月日	
その他		

造林作業道標準単価表

(令和5年7月1日適用)

兵庫県農林水産部林務課

1 森林作業道標準単価

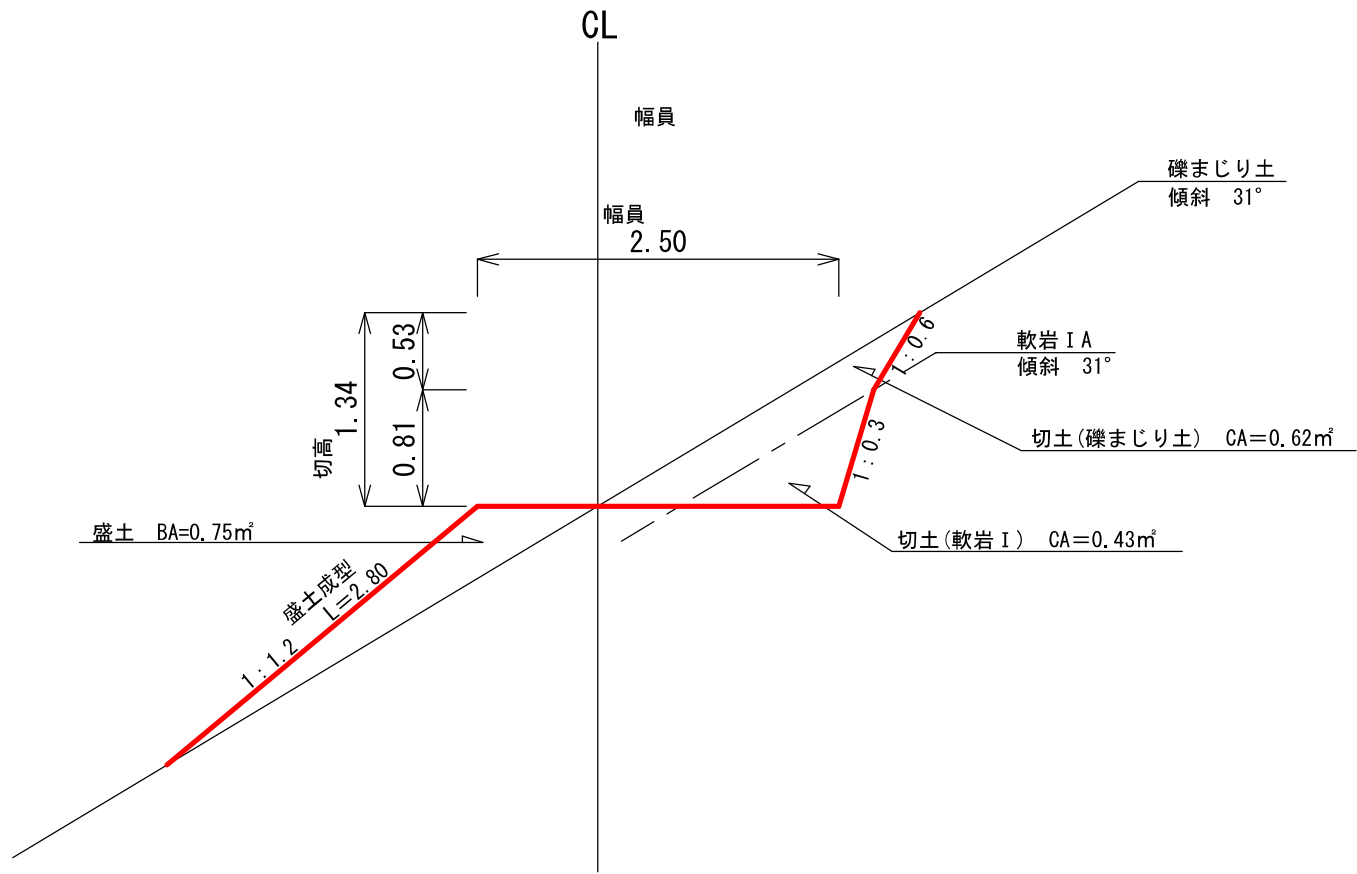
区 分	標準単価 円/m
補助導入機械	1,941
一般機械	2,045

- (1) 標準単価の構成因子は、切土、盛土、盛土整形を基準とする。
- (2) mあたりの土工標準単価に延長を乗じ査定すること。
ただし、改良・改築には適用しない。

2 留意事項

土工については標準単価を適用することとし、その他必要な簡易構造物については、別途定める「造林作業道積算標準単価（令和5年7月1日適用）」を参考に設計・積算を行うこととする。

なお、地形や地質、土質の条件から、標準単価が適用できない部分及び「造林作業道積算標準単価（令和5年7月1日適用）」に記載のないものについては、森林整備保全事業設計積算要領に準じて別途積算できることとする。



図面名	森林作業道標準断面図
年度	
名称	横断面図
縮尺	1:50